

色鮮やかなサツキ 来場者うっとり

町さつきまつり

色鮮やかなサツキが展示される第31回町さつきまつりが6月5日から7日までの3日間、山村開発センターで開かれました。

町さつき研究会と町盆栽研究会の会員らが、丹精込めて育てたサツキ40点、盆栽16点が披露されました。

会場に訪れた人々は、白やピンクの色鮮やかなサツキにうっとりしていました。

受賞者（最優秀賞のみ紹介）
サツキの部 銘木50年以上「中原武男さん（下榎）」 同30年から50年「関蔦夫さん（黒坂）」 盆栽の部 中谷章二さん（黒坂）」



色鮮やかなサツキに見とれる来場者



心をいやすやさしい音色が響きわたる

ピアノとびわの

華麗な競演

佐山雅弘・王晓東ライブ

ジャズピアノと中国びわの華麗な競演「佐山雅弘・王晓東（ワシヤオ）ライブ」が、5月23日、町文化センターで開かれました。

佐山さんはピアノ、王さんは、古代シルクロードを渡り、中国に伝わったびわを演奏。民俗音楽「三国志」など全12曲を披露しました。

会場に詰めかけた1500人は、ピアノと中国びわの奏でるやさしい音色にうっとり。来場者は「びわの生の音が聞けて良かった。心がいやされました」と話していました。

ハッスルプレーに

熱い声援

津地地区大運動会

体力増進と親睦を図ろうと、5月25日、津地地区大運動会（小谷順万公民館長）が、町運動広場（津地）で開かれました。

今年で22回を数える運動会には、同地区の子どもから高齢者まで約90人が参加。それぞれ各組に分かれて、水入れ競走や花吹雪、リレーなど13種目を楽しみ、さわやかな汗を流しました。

各種目とも、ハッスルプレーが続出。会場には、熱い声援が響きわたっていました。



みんながいっしょに花吹雪に熱中

子どもたちの週末はとても充実

楽しい子ども週末活動「魚釣り大会」「陶芸教室」



魚釣りの仕掛けを教わる小学生

この日は、水温が低く魚は釣れませんでした。子どもたちは「初めて魚釣りをした。水の流れる音が気持ち良かった」「釣れなくて残念。今度は家族で挑戦したいです」などと言いつつ釣りを楽しんでいました。

その後、公園内にある池に放されたニジマスのつかみ取りをして、楽しい時間を過ごしました。

6月7日には、町公民館で同活動の陶芸教室が開かれ、20人の子どもたちが参加。講師の指導を受けながら粘土をていねいに練り、皿や置き物などを作りました。



自分だけのオリジナル作品を作る

子どもたちに身近な川にふれあってもらおうと、5月17日、川の学校「魚釣り大会」（子ども週末支援ボランティアセンター主催）が、黒坂力ワコふれあい公園で開かれました。

小学1年生から中学生までの約40人が参加。講師に柴田滋さん（黒坂）を招き、日野川に住む魚の生態や釣り方などを学びました。

学習後、さっそく子どもたちは川の中に入り、釣りのエサとなる川虫を採って魚釣りに挑戦。それぞれグループに分かれて竿を出しました。